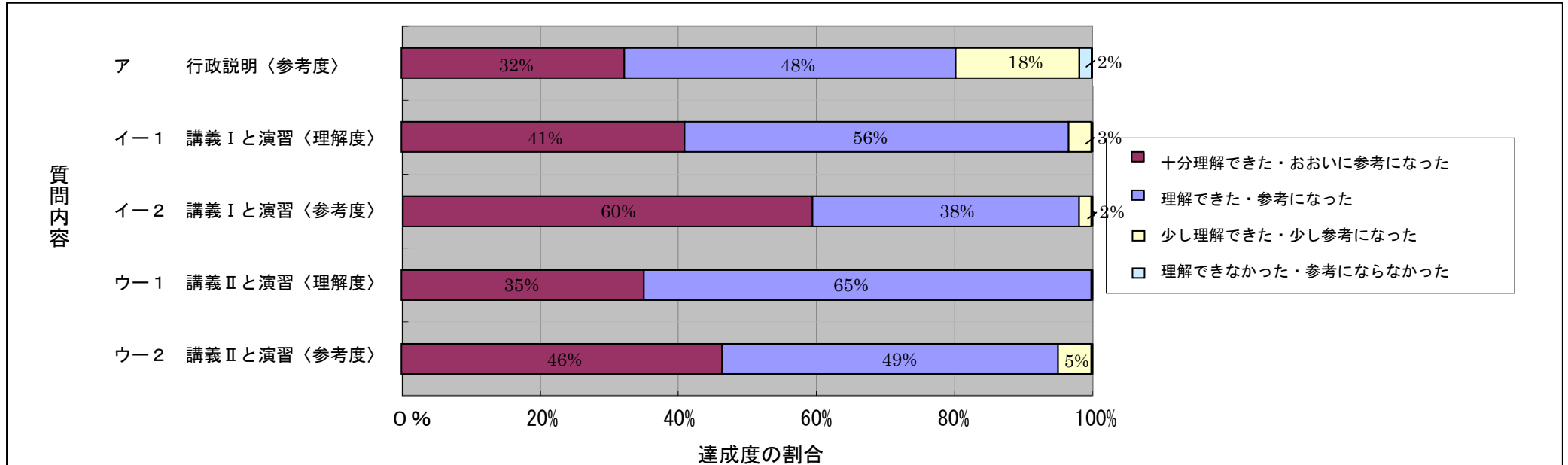


<研修内容における理解度・参考度について>

- 質問内容 ア : 行政説明「Ⅰ 放課後児童対策について～放課後子ども総合プラン～ Ⅱ 指導員の役割について～安全対策～」〈参考度〉  
 イー１ : 講義Ⅰと演習:「多様化する子供への理解と接し方」〈理解度〉  
 イー２ : 講義Ⅰと演習:「多様化する子供への理解と接し方」〈参考度〉  
 ウー１ : 講義Ⅱと演習:「放課後児童に関わる活動における危機管理について」〈理解度〉  
 ウー２ : 講義Ⅱと演習:「放課後児童に関わる活動における危機管理について」〈参考度〉



<「今回の研修を通しての感想・意見」などの記述から>

- ア ○ 放課後子ども総合プランの必要性や設立された経緯についてよく分かりました。それぞれの子供の特色を大切に、育てていきたいです。
- イ ○ 視機能異常について知り、眼で見る力を高めるためのビジョントレーニングを行うなど、私たちができることがまだまだあると感じました。もっと勉強し、自己研鑽をしていきたいと思いました。
- 子供への一律的な指示や接し方ではなく、その子供を理解した上での接し方が大事だと痛感しました。
- 最近の子供たちに対する接し方について感じていた違和感等、私が聞いてみたいことや不安に思っていた内容のお話でしたので、今後子供たちと良い関係を築けそうです。
- ウ ○ 放課後子供教室では、ほとんど防災についての訓練や対策をしていなかったのが日頃から不安に感じていました。学校と連携し、取組マニュアルを作成したいと思います。
- 災害が起こった時の対応についてイメージしておくことの必要性を感じ参考になりました。
- 自分の施設で災害が起こることを想定しておくことが必要だと思います。心のどこかに大丈夫だろうという安心感があるので、もっと危機感を持たなくてはいけないと思いました。